

技術資料 (TDS)

作成日 2021/06/29

・ 特質・特性

アケミ アケボックス 1005 (AKEPOX® 1005) は、亀裂や孔をしっかりと塞ぐための変性アミン硬化剤を含む流動的な2液性のエポキシ樹脂です。

下記の特性があります。

- 即硬化性
- 低粘度で高い浸透性
- 明るめの天然石に合う透明色
- 無溶剤
- 耐候性
- 研磨可能
- 上質な仕上がり
- 経済的
- Berufsgenossenschaft der Bauwirtschaftに基づいて分類される。

(事故防止、ドイツビル業界の保険協会) : GISCODE:RE01

・ 適応範囲

アケミ アケボックス 1005 (AKEPOX® 1005) は、主に天然石、コンクリート、コンクリートカラー平板等にある表面の孔の強化や石板の亀裂、またそれらを上質な表面にするために使用されます。もろい天然石の石板にはスパングラスファイバーとの使用でより強度を上げます。紫外線や熱によりやや黄変することがあります。

・ 使用方法

1. 被着体表面の水分と汚れを除去し、完全に乾燥させます。素材の厚さ等 事前に調べてください。
2. 表面を60°C~70°Cくらいに予熱しておく、製品がより浸透します。
3. 混合比率 成分AはBの重さに対し4倍の量 (例: 100 g と 25 g) あるいは体積で7:2の割合 (例: 175ml と 50ml) を均一になるまで十分に混ぜてください。
; AKEPOXは容量が多いほど作業はしやすいです。
4. お好みの色に応じてAKEPOX着色濃縮液、またはストーンインクを5%まで添加します。
5. 施工は20°Cの環境でおおよそ20~30分で仕上げてください。細かい歯のついたスプレーダーで表面全体に適用します。大きな亀裂や浸透性の高い素材は数回繰り返し施工してください。石が完全に貫通している亀裂はAKEPOX1005を適応する前に後ろ側をふせぐと良いです。
6. 約24時間後には表面を磨けます。(室内温度)
天然石の石板であれば60°Cほど予熱していると、約3時間後には研磨、研削することができます。そのあとは石を冷やしてください。
7. 研磨機や研削機の接触圧は1~1.5barまでが良いでしょう。
8. 使用後はAKEMI Nitro-Dilutionで器具を清潔にしてください。
9. 温度を上げると硬化速度が速まり、冷やすと遅くなります。
10. 廃棄する前に容器はきれいに洗浄してください。

・ 特記事項

- 最適な接着の特性を得るには、正確な混合比率を守ってください。
余分な主剤、硬化剤は強度が低下するおそれがあります。
- 施工表面の着色は石種、または亀裂箇所の色濃さによって多少変わる場合がありますので、事前に必ずテストしてください。
- 余分に追加する場合は成分AとBそれぞれ別の容器を使用してください。
- 中の樹脂が硬くなっている、もしくはゼリー状の場合は、使用できません。
- 表面を丁寧に研磨、研削すると綺麗な仕上がりになります。
- 15°C以下の温度では、十分に硬化しなくなるため使用しないでください。
- 一度硬化した硬化物は溶解剤でも取り除くことはできません。
高温 (>200°C) にて物理的に取り除くことは可能ですが接着面等損傷の可能性がります。
- 正しく使用し、完全に硬化した樹脂は健康に有害ではありません。

・ 技術データ

色	明るい透明
比重 成分A	1.13 g/ cm ³
成分B	1.00g/cm ³
使用量	約100~200g/m ²
可使時間 (硬化剤を混合してから使用できる時間)	
a) さまざまな気温、125gの場合	
15°C	30-35分
20°C	20-25分
30°C	5-10分
40°C	3-5分
b) 20°Cの環境でさまざまな量の場合	
25gの硬化剤	25-30分
125gの硬化剤	20-25分
1250gの硬化剤	15-20分
a) 予熱をした石板の硬化時間	
20°C	24時間
30°C	12時間
40°C	6時間
50°C	4時間
60°C	3時間

曲げ強さ DIN EN ISO 178 :

60-70N/mm²

引張り強度 DIN EN ISO 527 :

35-40N/mm²

・ 保管期間

直射日光を避け、湿気のない冷暗所で元の容器で2年。

- ・ 健康と安全

この製品の使用前にマテリアルセーフティデータシートをご一読ください。

- ・ 重要な注意事項

使用に当たっては、必ず予備テストを行い確認の上、実際の使用をしてください。